

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年12月26日
【四半期会計期間】	第144期第2四半期（自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日）
【会社名】	オリンパス株式会社
【英訳名】	OLYMPUS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 高山 修一
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号
【電話番号】	東京3340局2111番(代表)
【事務連絡者氏名】	総務部長 新本 政秀
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿2丁目3番1号 新宿モノリス
【電話番号】	東京3340局2111番(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 大西 伸幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年12月14日に提出いたしました第144期第2四半期（自平成23年7月1日 至平成23年9月30日）四半期報告書の記載事項に一部誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(2) キャッシュ・フローの状況

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2 四半期連結累計期間

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(株主資本等関係)

(1 株当たり情報)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第143期 第2四半期連結 累計期間	第144期 第2四半期連結 累計期間	第143期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(百万円)	417,327	414,518	847,105
経常利益(百万円)	19,263	9,476	23,215
四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△) (百万円)	3,806	△32,329	3,866
四半期包括利益又は包括利益(百万円)	△30,463	△65,153	△26,130
純資産額(百万円)	128,244	45,954	115,579
総資産額(百万円)	1,017,186	951,180	1,019,160
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は1株 当たり四半期純損失金額(△)(円)	14.10	△121.12	14.39
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円)	—	—	—
自己資本比率(%)	11.9	4.5	11.0
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	6,701	23,075	30,469
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	7,745	△18,482	19,003
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△12,476	23,102	△37,359
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (百万円)	200,263	231,665	210,385

回次	第143期 第2四半期連結 会計期間	第144期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期 純損失(△)金額(円)	14.28	△115.79

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでいません。

3. 第143期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しています。

4. 第143期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額並びに第143期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

第144期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

(訂正後)

回次	第143期 第2四半期連結 累計期間	第144期 第2四半期連結 累計期間	第143期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(百万円)	417,327	414,518	847,105
経常利益(百万円)	19,263	9,476	23,215
四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△) (百万円)	3,806	△32,329	3,866
四半期包括利益又は包括利益(百万円)	△30,463	△65,153	△26,130
純資産額(百万円)	128,244	45,954	115,579
総資産額(百万円)	1,017,186	951,180	1,019,160
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は1株 当たり四半期純損失金額(△)(円)	14.10	△121.12	14.39
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円)	—	—	—
自己資本比率(%)	11.9	4.5	11.0
営業活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	6,701	23,075	30,469
投資活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	7,745	△18,482	19,003
財務活動によるキャッシュ・フロー(百万円)	△12,476	23,102	△37,359
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (百万円)	200,263	231,665	210,385

回次	第143期 第2四半期連結 会計期間	第144期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期 純損失(△)金額(円)	14.28	△115.79

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでいません。

3. 第143期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しています。

4. 第143期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額並びに第143期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

第144期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(2) キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により減少した資金は184億82百万円となり、前第2四半期連結累計期間に対して262億27百万円支出が増加しました。主な支出増加の要因は、ファンド資産の資金化の減少333億59百万円等によるものです。一方で主な支出減少の要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得の減少86億23百万円等によるものです。

(訂正後)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により減少した資金は184億82百万円となり、前第2四半期連結累計期間に対して262億27百万円支出が増加しました。主な支出増加の要因は、ファンド資産の資金化の減少340億16百万円等によるものです。一方で主な支出減少の要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得の減少86億23百万円等によるものです。

第4【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
(省略)		
税金等調整前四半期純利益	13,425	△6,643
(省略)		
(訂正後)		

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
(省略)		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	13,425	△6,643
(省略)		

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】
(訂正前)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,425	△6,643
減価償却費	15,777	16,574
減損損失	—	13,950
のれん償却額	5,906	6,805
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	860	711
前払年金費用の増減額 (△は増加)	3	1,032
受取利息及び受取配当金	△947	△932
支払利息	6,183	7,004
投資有価証券売却損益 (△は益)	△141	△39
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,937	1,062
売上債権の増減額 (△は増加)	18,988	8,327
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,257	△14,027
仕入債務の増減額 (△は減少)	△16,545	△4,415
未払金の増減額 (△は減少)	△3,786	2,745
未払費用の増減額 (△は減少)	△5,883	△3,973
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,448	—
ファンド関連損失	163	—
その他	333	2,608
小計	30,464	30,789
利息及び配当金の受取額	986	950
利息の支払額	△6,201	△6,738
ファンド資金の流出	△2,448	—
法人税等の支払額	△16,100	△1,926
営業活動によるキャッシュ・フロー (省略)	6,701	23,075

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
<u>税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)</u>	13,425	△6,643
減価償却費	15,777	16,574
減損損失	—	13,950
のれん償却額	5,906	6,805
退職給付引当金の増減額(△は減少)	860	711
前払年金費用の増減額(△は増加)	3	1,032
受取利息及び受取配当金	△947	△932
支払利息	6,183	7,004
投資有価証券売却損益(△は益)	△141	△39
投資有価証券評価損益(△は益)	2,937	1,062
売上債権の増減額(△は増加)	18,988	8,327
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,257	△14,027
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,545	△4,415
未払金の増減額(△は減少)	△3,786	2,745
未払費用の増減額(△は減少)	△5,883	△3,973
<u>ファンド関連貸倒引当金の増減額(△は減少)</u>	2,448	—
ファンド関連損失	163	—
その他	333	2,608
小計	30,464	30,789
利息及び配当金の受取額	986	950
利息の支払額	△6,201	△6,738
ファンド資金の流出	△2,448	—
法人税等の支払額	△16,100	△1,926
営業活動によるキャッシュ・フロー (省略)	6,701	23,075

【注記事項】

(株主資本等関係)

(訂正前)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	4,049	15.00	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	4,004	15.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

(訂正後)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	4,049	15.00	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

(注) 配当金は、株主総会決議に基づく手続きによりすでに支出しておりますので、その他の利益剰余金は本配当金を控除して算定しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	4,004	15.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

(注) 配当金は、株主総会決議に基づく手続きによりすでに支出しておりますので、その他の利益剰余金は本配当金を控除して算定しております。

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額(△)	14円10銭	△121円12銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△) (百万円)	3,806	△32,329
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	3,806	△32,329
普通株式の期中平均株式数(株)	269,967,927	266,915,630
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	アイ・ティー・エックス(株)の新株予約権は、平成22年6月23日をもって権利行使期間満了により失効しています。	—————

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

(訂正後)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額(△)	14円10銭	△121円12銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△) (百万円)	3,806	△32,329
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
<u>普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△)</u> (百万円)	3,806	△32,329
普通株式の期中平均株式数(株)	269,967,927	266,915,630
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	アイ・ティー・エックス(株)の新株予約権は、平成22年6月23日をもって権利行使期間満了により失効しています。	—————

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。